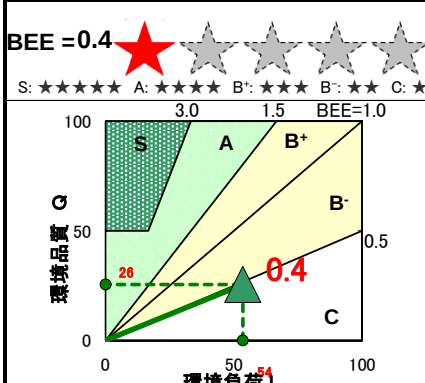
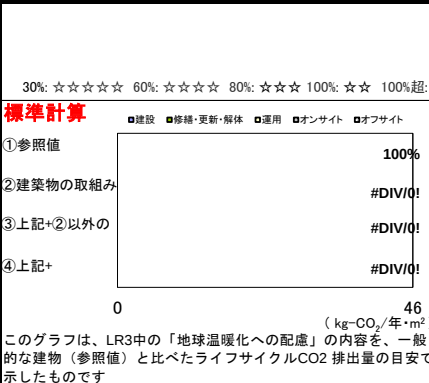
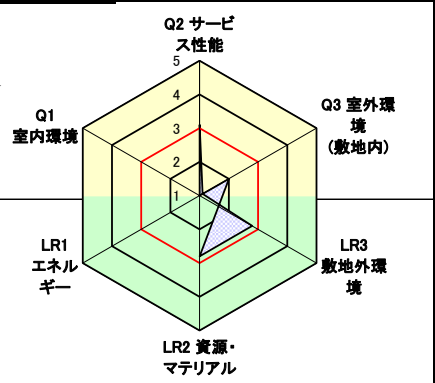


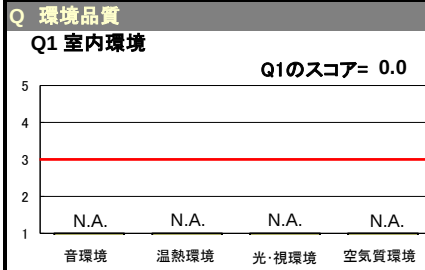
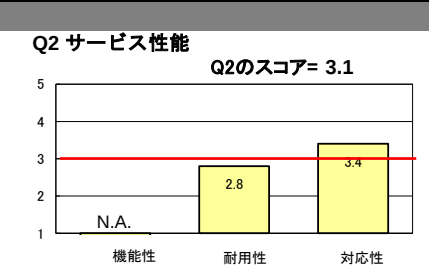
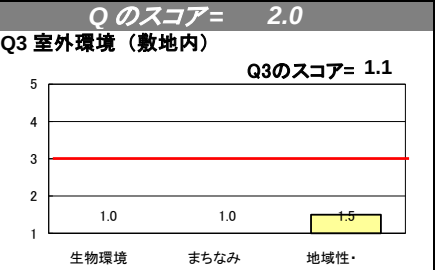
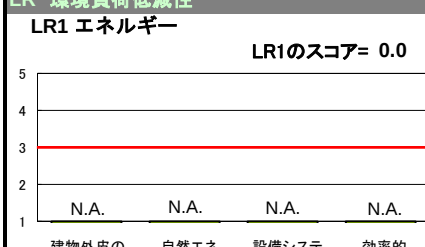
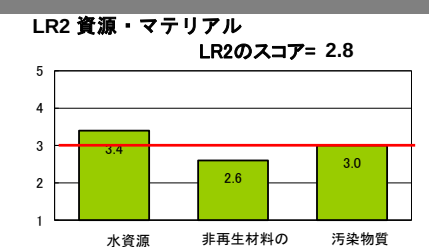
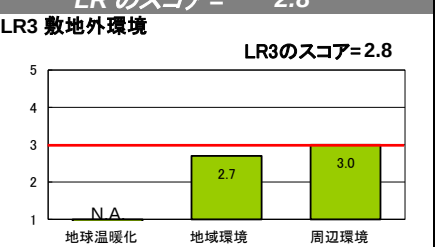
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	八田荘西小学校給食調理場改築工	階数	地上2階建て	#UNKNOWN!
建設地	大阪府堺市中区毛穴町268番地2	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	XX 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2025年1月6日	
敷地面積	1,273 m ²	作成者	木村 諭	
建築面積	334 m ²	確認日	2025年1月8日	
延床面積	441 m ²	確認者	木村 諭	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.4 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★  環境品質 Q 環境負荷 L	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	 Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0  音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1  機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.1  生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0  建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8  水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8  地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	階高、壁長さ比率等に余裕を持たせる事で空間のゆとりが出来るように配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	特になし。	Q2 サービス性能 階高=4.065mとする事で空間のゆとりを確保した。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	
LR1 エネルギー	特になし。	LR2 資源・マテリアル 内装の下地にはLGSを採用し、部材の再利用に配慮した。
LR3 敷地外環境	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建 物 名 称	八田荘西小学校給食調理場改築工事			
	建 設 地	堺市中区毛穴町268番地2		敷地面積	22973.00㎡
	主用途／延床面積	工場	／	440.58 m ²	建築面積 334.06㎡

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	—	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	1	● ● ● ● ●
エネルギー削減	—	● ● ● ● ●
建物の断熱性	—	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	2	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		0.0	—
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	スコア	評価点
緑地の確保に努める 中高木の植栽や日陰の形成に努め 地表面の被覆材に配慮する 建築外装材料等に配慮し、敷地外 への熱的な影響を低減するように 努める	CASBEE「Q3-1 Ⅲ-1)及びⅢ-2)」のスコアによる評価値	外構緑化評価 建物緑化評価	0.0 0.0	2.0 1
	CASBEE「Q3-3 3.2 Ⅱ-1)」のスコアによる評価値		0.0	
	CASBEE「LR3-2 2.2 Ⅱ-3)」のスコアによる評価値		0.0	
	CASBEE「LR3-2 2.2 Ⅱ-4)」のスコアによる評価値	屋根面積評価 外壁面積評価	1.0 1.0	
エネルギー削減	評価項目		スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		0.0	—
建物の断熱性	評価項目		スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	—
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		0.0	2
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		1.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		1.0	
自然エネルギー利用	評価項目		スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		0.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	